



三越伊勢丹グループ労働組合 名古屋三越支部速報

2024年2月26日に開催した労使協議会の内容についてお知らせします。

議長:	安藤部長(以下敬称略)
会社:	坂 河合 喜多村
組合:	林 松井 牛田 中住 近藤

「2024年度春の交渉」妥結について

2024年度春の交渉妥結までの動き

1月		2月				労使協議・交渉	妥結
30日(火)	1日(木)	9日(金)~	16日(金)~	25日(日)	26日(月)		
労使協議会	支部執行委員会	評議員会	メンバーズVOICE	支部大会	労使協議会		
会社より労使通年協議と2024年度上半期営業体制提案	議案書・賃金要求案を審議決定(執行委員原案)	執行委員原案を審議決定(評議員原案)	賃金要求案の説明メンバーへ議案書のコンセンサスを図る	議案書の審議決定=要求内容の決定	会社側へ賃金要求、2024年度勤務パターン、2023年度労使通年協議、2024年度上半期営業体制 組合回答		

2024年2月25日開催の支部大会での審議の様子



- ・ 労働組合は、2月中旬から下旬にかけて「2024年度春の交渉」について組合機関会議や動画配信、小規模集合型でのメンバーズVOICEによって、その内容の説明と意見集約をはかりました。
- ・ また、2月25日(日)に開催した支部大会にて、2023年度労使通年協議、2024年度上半期営業体制および2024年度勤務パターン、2024年度賃金要求について審議をおこなった結果、全会一致で可決されました。
- ・ その後、2月26日(月)に開催した労使協議会にて、2023年度労使通年協議、2024年度上半期営業体制および2024年度勤務パターンについて労働組合が「了」の回答をしました。
- ・ また、労働組合の2024年度賃金要求に対しては会社より満額の回答を受けた事により、「2024年度春の交渉」は終結いたしました。
- ・ 「2024年度春の交渉」における2024年度賃金要求や2023年度労使通年協議、2024年度上半期営業体制の詳細は「2024年度春の交渉 議案書(案)」をご覧ください、2024年度勤務パターンに関しては会社通報をご確認ください。
- ・ 次頁に労使協議会での労使双方のコメントを記載します。

2024年度春の交渉
メンバーズVOICE内容はこちら→
 (労働組合HPにリンクします)
 ログインID:55+社員番号8ケタ
 パスワード:生年月日8ケタ



2024年2月26日開催の労使協議会の様子



「2024年度春の交渉」妥結にあたって(支部執行委員長 林 佳弘)

- まず、逝去された田中哲さんにお悔やみ申し上げます。また先の1月30日に開催した労使協議会では議長としてリモートで参加されており、本来本日も議長としていらっしゃるはずだったことを思いますと非常に残念な思いです。
- さて、「2024年度春の交渉」における2024年度賃金要求について、満額のご回答をいただきましたこと、お礼申し上げます。誠にありがとうございました。
- 今回の春の交渉メンバーズVOICEでは動画配信と小規模集合型の意見交換会を併用しておこない、合意形成を図ってまいりました。
- 業績については着実に戦略の成果が出始め、黒字が見えてきたことをお伝えしてきました。また次年度賃金要求、通年協議事項に関しましては、ベースアップを始め、賞与支給表の見直し、時給制社員の職務・賃金の見直しという部分を中心に丁寧な説明をしてまいりました。
- メンバーからは、「今年度は黒字転換できるのか不安もありがたながらのスタートだっただけに、今回の説明を受け、安心した」という声や「賞与の仕組みがわかりやすくなった」「業績も厳しい中で、ベースアップは素直に嬉しい」という声を多く頂戴しました。一方で今後の会社への要望に関しましては、「多くの指示事項に関して、決定に至るまでのプロセスを可能な限り丁寧に直属のマネジメント層から共有してもらいたい。」という、コミュニケーションの向上の重要性を認識し、風土醸成を更に勧めてほしいという声をいただきました。
- メンバーの頑張りによる現在の業績状況をまずは純粋に喜ぶとともに、これを持続的に実行することが次のステップとして重要と捉えています。労働組合としましては、先の労使協議会で会社からもご発言頂いたように、メンバーの頑張りや成果については処遇へ還元をお願いしていくとともに、メンバーへは、その意味合いを含め自身の行動に繋げてもらえるよう努めていきたいと考えます。今回、労働組合は、持続可能な組織づくりを高めるために、メンバーからの意見を取り入れた「労働福祉ビジョン」を作成しました。理想とする状態の名古屋三越を実現するために、長期的な視点も持ちつつ、労使一丸となって取り組んでいきたいと思っておりますので、次年度以降も引き続きよろしくお願いたします



労使協議会終了にあたって(総務・経営企画部長 安藤 朋彦さん)

- 冒頭にもありましたがおり、本来ここに座っているはずだった田中哲さんがこの場にいなかったことが非常に残念です。
- 2023年度は4期連続の赤字から黒字化にむけて田中新社長のもと、営業力強化に取り組んできましたが、期の途中からは体調が優れず、リモートにて業務にあたられていました。
- 亡くなる直前までリモートにて完璧に仕事を務められており、その中で田中さんがおっしゃっていたのが「名古屋の皆さんの頑張りには本当に感謝している」という言葉でした。
- まだ期中ですので気を緩めてはいけませんが、業績も明るい見通しが立っています。
- 2023年度の黒字化はもちろんのこと、予算達成を実現していきたいので引き続きよろしくお願いたします。
- またようやく見え始める明いさざしの中で、処遇への還元につなげていきたいと考えています。
- さらなる高い目標を目指し、さらなる高い水準の処遇を実現していくというのは労使ともに思い描いていることだと思います。
- きたる次期3ヶ年計画においては個客業への転換ならびにあるべき事業構造への構造改革など、次の未来を描いていきたいと考えています。
- 引き続き労使で協力し、取り組みを進めていきましょう。

